

JNSA ワーキンググループ紹介

標準化部会 日本 ISMS ユーザグループ

日本 ISMS ユーザグループ リーダー
NTT コムソリューションズ株式会社 魚脇 雅晴

■ 日本 ISMS ユーザグループについて

「日本 ISMS ユーザグループ(J-ISMSUG)」は、2004年より任意団体として活動しておりましたが、JNSAの広いセキュリティ活動と連結することで、その活動範囲/参加メンバの拡大、活動成果の有効活用を促進したく、この度JNSA 標準化部会のWGとして新たに合流いたしました。

これまでJ-ISMSUGでは、ISMS 認証取得企業と ISMS 専門家が、経験的な知識に基づく意見交換・議論を進めることで ISMS の構築・運用に関わるベストプラクティスを提供し、日本における ISMS 普及・促進に貢献する目的で活動してきました。

活動概要

J-ISMSUGではISMSを構築・運用する上で ISO/IEC 27001等の規格をどう読み解いて、企業活動にISMSを積極的に実践活用する方法を検討、研究し、国内外へ発信します。具体的にはISMS 認証取得企業（ユーザ）と ISMS の専門家が連携し、意見交換・議論を進めることで ISMS の構築・運用に関わるユーザ視点でのベストプラクティスを提供し、日本における健全かつ効果的な ISMS 普及・促進に貢献する活動を行っています。J-ISMSUGには以下の主な活動があります。

- インプリメンテーション研究会におけるISMSの構築や運用における課題検討（毎月）
- 情報セキュリティマネジメントセミナーの開催と研究結果の発表（12月）

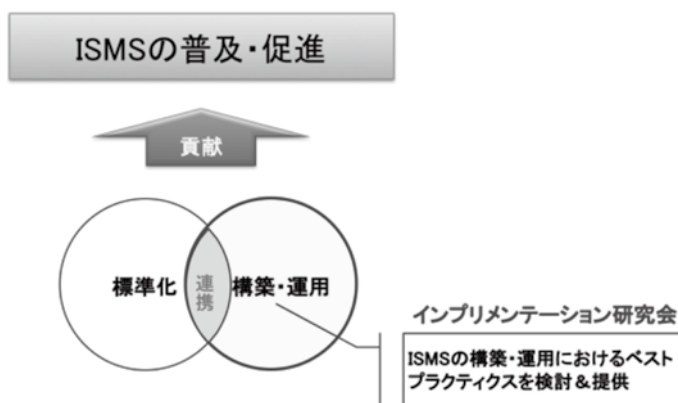


図.1 日本 ISMS ユーザグループの活動趣旨



研究会の様子

1) インプリメンテーション研究会の活動紹介

J-ISMSUGでは、2006年に2つのWG(以下の表)の活動を実施していましたが、ISMSの有効性測定を行うための「メジャメントWG」が一段落したため、それ以降はインプリメンテーションWG(インプリメンテーション研究会と呼ぶ)が毎月ISMSの構築や運用における課題検討を進めています。本研究会において扱うテーマとしては国際規格改定に伴う改定内容のブレイクダウンや実際の運用現場で発生する課題を明確化し、対応方針や対応方法についての研究や、直近では企業を取り巻く環境の変化(サイバー攻撃、クラウド利用など)などに伴うリスクに対し、組織としてどう取り組むか研究しています。(表.1 過去のテーマ一覧参照)

表.1 過去のテーマ一覧

年度	インプリメンテーションWG	メジャメントWG
2006	■本WGの活動紹介 & ISMS導入に関する課題の事例紹介	■有効性測定の基本的な考え方 & 取り組み事例紹介
2007	■情報セキュリティ研修・啓発 ■効率的リスクアセスメント	■有効性測定の基本的な考え方 & 新たな取り組み事例紹介 (進捗状況含む)
2008	■ISMS構築事例に見る有効性測定構築の傾向 ■業務委託先のセキュリティ評価	■有効性測定の基本的な考え方 & 共通フレームワーク案 (進捗状況含む)
2009	■標準的なリスク分類と具体的な管理策の対応のモデル化 ■管理策の有効性評価を効果的に行うモニタリング手法のモデル化	■ISO/IEC27001における「有効性測定」
2010	■標準的なリスク分類と具体的な管理策の対応のモデル化 ■管理策の有効性評価を効果的に行うモニタリング手法のモデル化	■ISO/IEC27001における「有効性測定」
2011	■可視化手法を用いたリスク対策モデル ■ISMS全体の有効性評価手法	■管理策の有効性測定
2012	■可視化手法を用いたリスク対策モデルとその実践的応用 ■ISMS実践手法 BCPのモデル化の検討	■管理策の有効性測定
2013	■ISMS推進事務局の悩みと解決策 ■有効性評価に基づくISMS実践活用	メジャメントWGは有効性評価に関する成果を持って活動を 休止。インプリメンテーション研究会に一本化して活動。
2014	■ISMS推進事務局の悩みと解決策 ■ISMS規格改訂にともなう実装方法の検討	
2015	■ISMSを成功させる理想的なCISOの条件 ■減らないインシデントの特効薬	
2016	■サイバー攻撃を事例としたリスクマネジメントの実践 ■運用フェーズにおける有効性の評価	
2017	■現場と連携したリスクアセスメント手法の実践活用 ■内部監査を有効に運用するための手法の考察	
2018	■ISMS規格要求事項から紐解く最新のビジネス環境リスク (サイバー攻撃、クラウド利用への対応方法についての考察) ■働き方改革における情報セキュリティ	
2019	■最新の環境変化に伴うISMSの実装検討(活動中) ■各社の事例から学ぶISMSの実装について(活動中)	

JNSA ワーキンググループ紹介

2) 情報セキュリティセミナーの開催

毎年12月にJ-ISMSUGの活動内容の一般公開と非メンバとの意見交換を目的として、「情報セキュリティセミナー」を開催しています。本セミナーでは、J-ISMSUGの活動だけではなく、最新の国際標準化の動向、及び喫緊のサイバー攻撃の脅威などの情報共有も積極的に進めています。昨年は標準化動向として、



ISO/IEC 27000ファミリー規格の最新動向やサイバーの概念、IoT、研究会の成果発表として最新のビジネス環境リスクや働き方改革等をテーマとして実施し、参加募集開始後、1週間もしないうちに満席状態となり、実際の参加人数も171名という盛況な結果となりました。

今後の活動について

今年も新しいテーマ（最新の環境変化に伴うISMSの実装検討&各社の事例から学ぶISMSの実装）を設定し、インプリメンテーション研究会の活動を継続的に実施しています。今年は新規のメンバーも続々と参加して頂いており、これまで以上に活発な議論が期待できます。皆様のご参加をお待ちしております。（飛び入り参加も大歓迎なのでJNSA事務局へご連絡頂ければ幸いです。）